

## 家庭で、家族ふれあいの場・機会を 充実させましょう

### 「家庭の日」とは・・・

「家庭の日」の誕生

「家庭の日」運動は、昭和30年（1955年）に鹿児島県の鶴田町で生まれました。公民館の研修会で、親と子の絆の大切さ、それを強くするための「家庭」の大切さの見直しがあり、それに加えて農業従事者の「農休日を設定しては」という町の考え方が重なり、「家庭の日」が産声をあげました。

栃木県の状況

昭和41年8月、栃木県青少年問題協議会において、毎月第3日曜日を「家庭の日」と決議し、さまざまな運動を展開することになりました。



一人ひとりが心豊かに

生きがいのある人生を

送れるように支援します

# 生涯学習だより

栃木県次世代人材づくり事業  
青年リーダー、女性リーダーの  
募集について

栃木県では、「栃木県青年の船（平成17年度から「次世代青年リーダー育成事業」）及び「栃木県女性の海外研修」両事業の見直しをし、「次世代人材づくり事業」として実施します。

### 概要

活力と美しさに満ちた郷土”とちぎ”づくりを推進するために、国際的視野を持った次代の栃木県を担う人材づくりが不可欠です。そのために、人間性豊かで地域に貢献する青年リーダー及び女性のエンパワーメントの向上を目指した地域活動の推進役となる女性リーダーを市町と共同で育成します。

主催

栃木県次世代人材づくり

実施委員会

期間

事前・事後研修

平成19年8月から平成20年2月までの、主に水曜日に開催

（7回開催）します。時間は、午前10時から午後4時まで。

海外研修

平成19年11月下旬の6日間

（5泊6日）を予定

行き先

中華人民共和国（訪問都市：浙江省、上海）

対象及び定員

青年リーダー 1名

原則として市内在住で、満

18歳以上36歳未満の男女（全

日制高校生を除く）

女性リーダー 1名

原則として市内在住で、満

36歳以上55歳未満の女性

本人負担額

12万9千円

選考

書類審査（小論文ほか）、面接等により選考

募集締切

5月末日

申込方法

申込書は、生涯学習課に備

えてあります。

申し込み・問い合わせ先

生涯学習課（石橋庁舎2階）

☎（52） 11119

下野市女性団体連絡協議会の

登録団体を募集します

一緒に活動しませんか？

下野市女性団体連絡協議会では、女性団体の相互理解と協力、女性の地位向上を目的に、情報交換、研修会、市との共催事業等、まちづくりに参画し、明るい地域づくりを推進する仲間を募集します。

入会基準

会の目的に賛同する団体

（10名以上）

年会費

2,000円程度

申し込み方法

登録申込書及び会則、名簿を生涯学習課に提出してください。後日、協議会で協議し

入会の可否を決定します。

18年度の主な活動

講演「みんなで創る幸せなまちづくり」・消費者問題研

修・市内バス研修・ゆうがお

市民のつどい（県研修発表・

環境問題講演会）等

下野JLCにて  
市内在住または市内の学校に通っている中学生・高校生で組織するボランティアグループで、子ども会活動のお手伝いや福祉活動支援など幅広い活動をしています。  
年会費  
1,000円  
申し込み方法  
所定の申し込み書を生涯学習課へ提出してください。

下野ジュニアリーダーズ  
クラブ（JLC）会員募集

申し込み・問い合わせ先  
生涯学習課（石橋庁舎2階）  
☎（52） 1119  
FAX（52） 2624



【お詫びと訂正】  
2月中旬に各自治会に配布しました人権啓発パンフレットの「人権についての相談」の関京子さん、藤沼修一さんは、既に入権擁護委員を退任されています。また、海老原富美男さん（山王山）は、（三王山）の間違いでした。お詫びして訂正いたします。  
生涯学習課  
☎（52） 1119

JLC会長より一言  
子どもと遊ぶのが好きな人は必見 人間として成長できるチャンス 交流会では、栃木県内のJLCの仲間が集い、県内の友達が増えること間違いなし 今年、キャンプ、クリスマス会等を企画中 いっしょに青春を楽しもう。



申し込み・問い合わせ先  
生涯学習課（石橋庁舎2階）  
☎（52） 1119  
FAX（52） 2624

## 下野市青少年育成市民会議だより

### 市民会議が目指すもの

“大人が変われば子どもも変わる”と言いますが、大人はどのように変わればよいのでしょうか。一般に世間の大人達は、子どもを世間体を基準に判断してはいないでしょうか。世間体を基準に子ども達を見ると、大人は自分の考えをいろいろと押し付けたくなるものです。世間体を気にするあまりの押し付けは、逆に子ども達にとって家庭や地域が息苦しい場所になってしまいます。その結果、深夜の徘徊や、ゲームセンターへの入りびたりなど非行の原因にもなりかねません。私達大人は素直に子ども達の意見に耳を傾けたり、見守ることも必要なのではないのでしょうか。これからは子ども達を見る物指し（世間体と言う物指し）を変えてみてはどうですか。  
下野市青少年育成市民会議会長 倉井徳勇

### 子どもの言い分

宇都宮市青少年育成市民会議が「子どもの言い分」として子どもから集めた子どもの想いです。ぜひ子ども達の想いを受け止めてください。  
「大人は今の子どもがダメだとかだらしなとか言うけど、それをつくりだしたのはあなたたちでしょ」  
「私の言い分を最後まで聞いて」  
「信じてほしい全部とは言わないから…。ほんの少し、ほんの少しでいい。子供を信じてほしい」  
今後も、いくつか紹介していきます。



事務局：教育委員会生涯学習課  
☎ 52 - 1119 FAX 52 - 2624